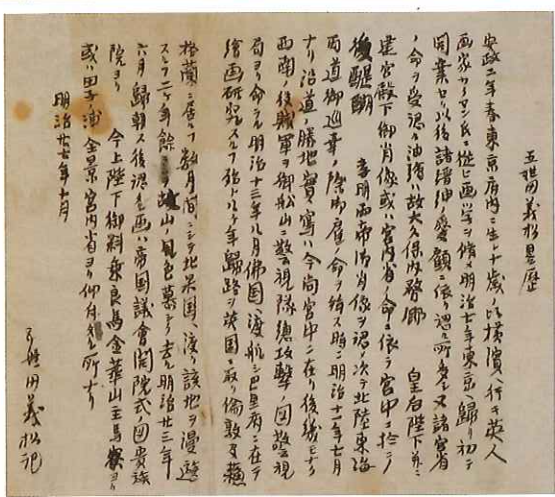


五姓田義松史料集

明治前期、西洋に挑み、その後忘れられた洋画家——
五姓田義松。その全貌を明らかにする初の翻刻史料集



「五姓田義松履歴」明治27年



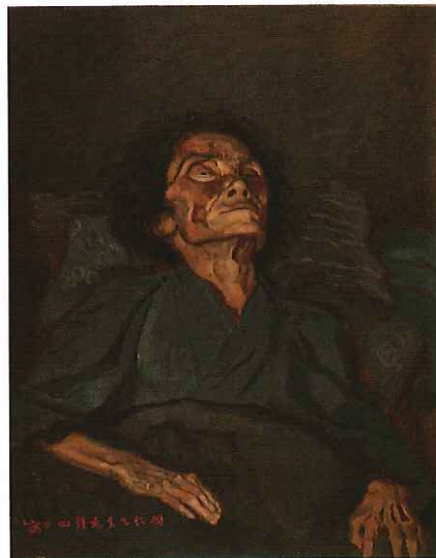
「自画像」明治10年（東京藝術大学）



「制作風景」明治5年頃（神奈川県立歴史博物館）



「人形の着物」明治15年（笠間日動美術館）



「老母図」明治8年（神奈川県立歴史博物館）

角田 拓朗 編

（神奈川県立歴史博物館主任学芸員）

本体価 二六、五〇〇円＋税

A5判上製函入

本文五八四頁

口絵一六頁

ISBN978-4-8055-0744-5 C3071

特別展

没後100年 五姓田義松 —最後の天才—

神奈川県立歴史博物館 会期：2015年9月19日（土）～11月8日（日）

五姓田義松の没後100年にちなみ、義松の作品、家計簿や販売記録などの関連資料など計800点を超える大展覧会が神奈川県立歴史博物館で開催。知られざる天才画家の生き様とその魅力に迫る30年ぶりの大回顧展。

日記・書簡だけでなく、支出明細や執筆料、留学時代の覚書など、多岐にわたる資料を収集・再構成し、編者による解説を併載した。幕末から明治の動乱期に生き、10年にわたる滞欧を果たした画家であったにもかかわらず、等閑視されてきた五姓田義松の生涯を再評価することで、近代日本美術史さらには近代日本史への新知見を提示する。

目次

- 解題
- 史料
- 第一編 履歴
- 第二編 日記・旅行記
- 第三編 書簡
- 第四編 雑類
- 第五編 Le livre de Dépenses
- 第六編 潤筆料受領
- 第七編 各国之沿革并諸有名家略伝手抄年譜年譜 / 文献 / あとがき / Goseda Yoshimatsu (英文要旨)

五姓田義松略歴

五姓田 義松 (ごせだ・よしまつ 1855-1915)



明治23年以降の義松

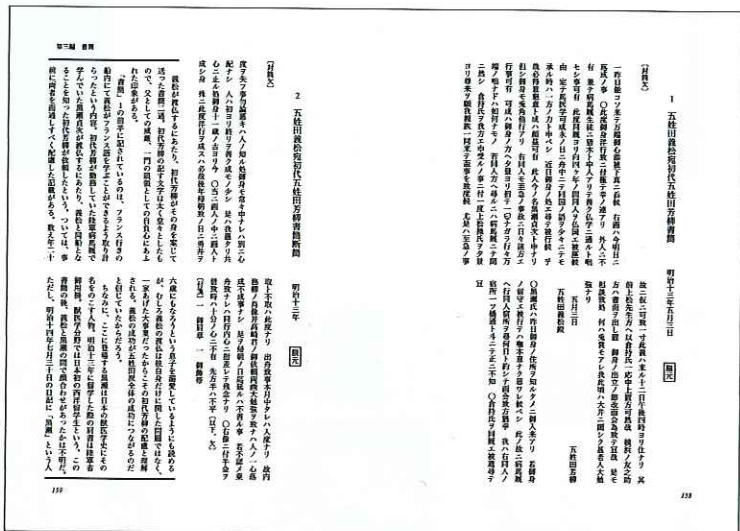
安政2年、江戸に生まれる。父は、絵師である初代五姓田芳柳。慶応元年、横浜在住の英国人報道画家チャールズ・ワーグマンに入門し、西洋絵画の手ほどきをうける。明治10年に開催された第1回内国勸業博覧会で洋画部門の最高位を獲得。名実ともに洋画家の頂点となる。翌年には明治天皇の北陸東海御巡幸に供奉、御肖像を制作するなど、皇室関連の依頼を継続してうける。明治13年、渡仏。翌年には、日本人として初めてサロンに入選。足かけ10年を経て、帰国。帰国後は横浜を拠点に、寡作ながら質の高い作品を作り続けた。大正4年、横浜にて没。

編者略歴

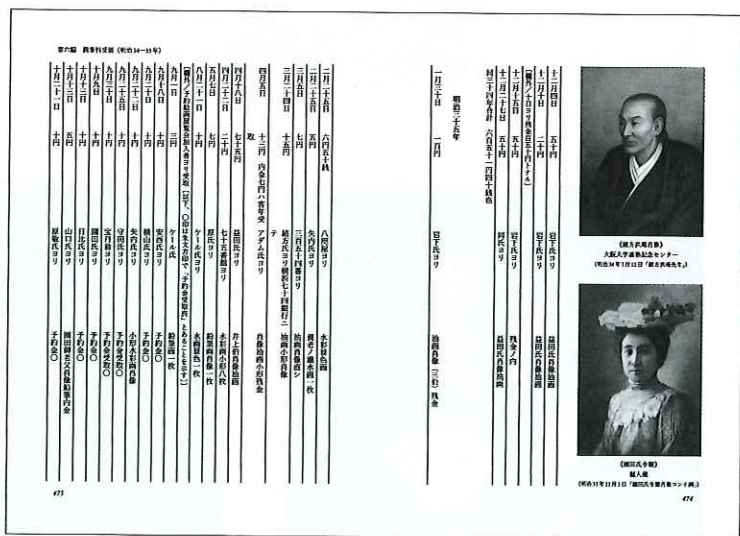
角田 拓朗 (つのだ・たくろう)

昭和54年、東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程中退。平成18年より、神奈川県立歴史博物館学芸員(現職)。専門は近代日本美術史。主な著作に、共編著「五姓田のすべて—近代絵画への架け橋—」(展覧会図録 平成20年 第21回倫雅美術奨励賞受賞)、共編著『『國華』創刊に関する研究—新出の高橋健三資料を中心として—』(研究成果報告書 平成25年)、共編著『日本美術全集16巻』(小学館 平成25年)など。

組見本



▲組見本(約30%縮尺) 第三編「書簡」より



▲組見本(約30%縮尺) 第六編「潤筆料受領」より

関連書籍

◎五姓田義松作品28点を含む、明治前期油画基礎資料の決定版

明治前期油画基礎資料集成
東京芸術大学所蔵作品

坂本一道・佐藤一郎・歌田真介他編

A4判上製函入2分冊(研究篇・図版篇) 本体価37,000円+税

◎雑誌新聞で語られた言葉の数々から日本近代洋画の確立者の実像にせまる

黒田清輝著述集 東京文化財研究所編 本体価16,000円+税

◎画家、美術品収集家、文化交流者としての児島虎次郎に新たな光をあてる

児島虎次郎研究 松岡智子編 本体価12,000円+税

中央公論美術出版

お取り扱いほ

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル6F
電話 03-5577-4797 FAX 03-5577-4798